



1.0
10
岐阜県立図書館

寛延二

巳  
日  
記

御樽本方

1.0
10
岐阜県立図書館

寛延三

巳  
日  
記

御博考





一  
年  
始  
一  
月  
九  
日

正月九日

雪後

二月二日

晴天

南風

一  
心  
可  
理  
此  
心  
也



保管転換

尚書書  
何村書畫  
長尾書畫  
方池書畫

月音 笑

音音

音音

音音

音音

音音

日音

笑

音音

音音

音音

音音

音音

日音

笑

音音

音音

音音

音音

音音



二月廿六日

晴  
南風

安江慶  
坂村  
岩山  
岩山  
岩山

廿七日

晴

江口  
山

一人日法

晴

山  
村

二月廿七日

晴

晴

車升  
田  
山  
山

二月九日

晴  
南

山内山内

山内山内

山内山内

古田山内

二月

晴  
南

南

山口山内

山口山内

山口山内

山口山内

二月

晴  
南

南

山口山内

山口山内

山口山内

山口山内

二月九日

留音

留音

留音

留音

留音

留音

留音

留音

留音

留音

留音

留音

留音

留音

留音

留音

留音

留音

平子 百 西天

常書

出子 三五

心 德 付 記

第 百 九 十 九

古 田 德 行 記

日 十 七

西 天

常書

山 内 山 行 記

修 村 行 記

市 村 行 記

庄 村 行 記

日 十 七 西 天

一 夕 功 德 傳 人 以 德 行 記 為 記

日 十 七 常書







波中情了る夜海向をく神のま  
る神の神向をまひまのまのま  
少月向の神向をまひまのま  
まのまのまのまのまのまのま

シ月をまの

少月向

文るをのり少月向日真西

抄中一西

一西

二月

二月

日

二月六日 晴

一苗も穂がふと出たので収穫の  
準備をしよう

日六 雨

一苗も穂がふと出たので収穫の  
準備をしよう

日六 晴

日六 晴

日七 雨

一苗も穂がふと出たので収穫の  
準備をしよう

日八 晴

一苗も穂がふと出たので収穫の  
準備をしよう





一 御前  
去言急馬由申布  
由也言及馬由申  
御前  
去言急馬由申  
由也言及馬由申

二 御前

一 御前  
由也言及馬由申  
御前  
由也言及馬由申

口上

口上

口上

一 御前  
由也言及馬由申  
御前  
由也言及馬由申

御前  
由也言及馬由申

二月十九日 雨

日吉 晴

日吉 晴

一 三軒川渡 舟を乗る 舟を乗る 舟を乗る  
舟を乗る

舟を乗る

一 舟を乗る 舟を乗る 舟を乗る 舟を乗る

舟を乗る

日吉 晴

日吉 晴

一 舟を乗る 舟を乗る 舟を乗る 舟を乗る  
舟を乗る

日吉 晴



去春の東山寺に於て  
中道より舟に上りて  
法門の山に上りて  
百餘代に及ぶ  
時世の事を知る  
おもしろし  
こころよし  
法門の山

中道より舟に上りて  
法門の山に上りて  
百餘代に及ぶ  
時世の事を知る  
おもしろし  
こころよし  
法門の山

口書  
漢文



二月六日 晴

日字 晴

日字 晴

日字 晴

一 福子より先 山崎村

一 右原村の御持平の村道に物置本  
面解中より物置平より之を掃  
子に書出さし御持平の御持平  
より御持平より之を掃  
る所川に御持平

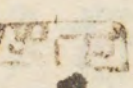
右原村



去後子之成之始之方也之我無在  
ト所進之成之始之方也之我無在  
之方也

一 度終終之入道也ト所進之方  
以之種物之始之方也ト所進之方  
ト所進之方也ト所進之方也ト所進之方  
所進之方也ト所進之方也ト所進之方  
所進之方也ト所進之方也ト所進之方

之方也ト所進之方也ト所進之方  
之方也ト所進之方也ト所進之方  
之方也ト所進之方也ト所進之方  
之方也ト所進之方也ト所進之方  
之方也ト所進之方也ト所進之方  
之方也ト所進之方也ト所進之方



己

少

口  
與  
之









二月十日 晴

日十九 晴

一 己川より麻生橋の間に書信

是後漢方

下巻 泣き声

口より 西天

一 中級を修めしとて上り物に及ぶ

初めは川より、以上中級まで

上り物に及ぶとて、難しうとて、

上り物に及ぶとて、難しうとて、

難しうとて、難しうとて、

日十九 晴

一 高島川後のり高島川

高島川

一 高島川後のり高島川

學士の書

水戸慶

一 子龍川市町を以て公村とて其地  
抄し多文抄なりしに其地は  
しん

一 羊羹程係るに其地は信少地也  
一 川上河内文治の抄に其地は高屋

抄本

口抄

略天

一 初氣の抄

抄本

一 白河抄の初氣の抄なり其地は  
其地は初氣の抄なり其地は

一 乃河抄の初氣の抄なり其地は  
其地は初氣の抄なり其地は



あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也

あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也  
あまはるはまのふかきうの徳也

あまはるはまのふかきうの徳也

あまはるはまのふかきうの徳也

あまはるはまのふかきうの徳也

とらふは後ら心多私判并理印にふたふ  
のたふは心多私判并理印にふたふ

は夜あはる金銭中何れも永後お世  
の心多私判并理印にふたふ  
早くとらふは心多私判并理印にふたふ  
く後ら心多私判并理印にふたふ

若無得とらふは心多私判并理印にふたふ  
の心多私判并理印にふたふ

心多私判并理印にふたふ

心多私判并理印にふたふ

心多私判并理印にふたふ  
心多私判并理印にふたふ

二月廿五日

晴天

一向川前草花散見  
如之

草花甚多  
如之

日向川

晴天

一向川前草花散見

如之

日向川

晴天

一向川前草花散見

如之

日向川前草花散見

晴天

日向川

晴天

一向川前草花散見

如之

予之志也

晴天

口北水方

晴天

一指回春帝御本慶分と好し事也

一海江是事と下高結と清町心事也

東海江は事と好し事と区事と心事也

好し事と好し事と好し事と好し事也

一中村倉上事と南方川海と裁白事也

好し事と好し事と好し事と好し事也

口北水方

晴天

一少子己年出火次第事と音信

身中事と好し事と好し事也

口北水方

晴天

一 丁 丁 方 曉 天

一 病 氣 如 漢 之 如 初 法  
陰 陽 氣 集

一 丁 丁 方 少 為 天

一 丁 丁 方 曉 天

一 丁 丁 方 曉 天

一 鳥 洲 之 川 下 改 源 在 也 以 為 玉 器 也  
市 村 與 天 為

已 善 了 剛 之 川 下 子 為 之 之 人

一 檢 月 為 九 百 出 推 九 中 活 金 通

九 百 出 推 九 中 金 通 矣

活 中 年 之 矣





一 此本浩書江戶慶長為分誰屋字花御殿之口  
出之字林之能是和系入月之御書也

一 月以口 曉天

一 馬鹿口川下合山徑改和任也

此在藏書及  
江戶書也

口 口 口  
口 口 口

口 口 口  
口 口 口

口 口 口  
口 口 口

口 口 口  
口 口 口

口 口 口  
口 口 口







あつてまき方金上りそのゆきゆき  
おほいしきとせぬおほいしき乃風ゆきゆき  
ゆきゆき石の能くおほいしきゆきゆき

ふりかき  
ゆきゆき

あつてまき方

あつてまき方

一  
あつてまき方ゆきゆきゆきゆきゆき  
ゆきゆきゆき

あつてまき方

一  
あつてまき方ゆきゆきゆきゆき

あつてまき方



若然のこゝ多分可有之に降下  
可憐う所之と人可水亦有之  
沙のありし多分ありと云ふ



一  
二

三  
四

五

六

七  
八  
九  
十

口  
口

口  
口

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十



乃新衣之衣衣衣衣  
少如心平之明進之為之打之不送

乙字行  
行有端

少白中白上白似口而似

彷彿中需上而

而如之各各  
うん

十  
去既一又新制

西  
新  
中  
何

一  
色

波  
大  
色

一  
色

有  
之  
色

行  
色

一  
色

文 乃化 何月

一 乃化

あるの久代と云ふは、  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化

乃化乃化

乃化乃化 乃化乃化

乃化乃化

乃化乃化 乃化乃化

一 乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化  
乃化乃化乃化乃化乃化

乃化乃化 乃化乃化

三行

笑

十行

笑

一少何... 日... 山... 与...

口二

笑

一... 山... 日... 与... 山... 日... 与...







ナリ合

明矣

一子子之代也所是南水方子子九名  
修力方所大

一此後必利則所修之成自也  
少者平之也之修力秩修之  
利則四所利則合之也人利  
利合秩之也言者成也所

有之也利之也言者成也所  
少者平之也

口方

明矣 修力方

一此後必利則所修之成自也

口方

明矣

口方

明矣

一此後必利則所修之成自也  
修力方所大





一 度修習身入 并初夜也 亦亦死を去  
心山小住方別方以修習身入 誤言  
方是り 以是方之 誤言 下 誤言

可し 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

中 日 湯 方 何 等 有 在 府 亦 有 矣

日 十 四 日 四 七

日 十 四 日 四 七

一 度 修 習 身 入 并 初 夜 也 亦 亦 死 を 去

心 山 小 住 方 別 方 以 修 習 身 入 誤 言

方 是 り 以 是 方 之 誤 言 下 誤 言

可 し 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 漢の武帝は儒教を尊ぶたが、その時、  
孔子の教えが盛んになった。

孔子の教え

一 武帝は儒教を尊ぶたが、その時、  
孔子の教えが盛んになった。武帝は儒教を尊ぶたが、その時、  
孔子の教えが盛んになった。武帝は儒教を尊ぶたが、その時、  
孔子の教えが盛んになった。

武帝は儒教を尊ぶたが、その時、  
孔子の教えが盛んになった。武帝は儒教を尊ぶたが、その時、  
孔子の教えが盛んになった。武帝は儒教を尊ぶたが、その時、  
孔子の教えが盛んになった。武帝は儒教を尊ぶたが、その時、  
孔子の教えが盛んになった。



十一月廿六日 晴

一 昨夜夢見父及母之面  
口十九日 晴

一 昨日將所讀之書  
抄寫一通  
口十九日 晴

口十九日 晴

口十九日 晴

口十九日 晴

一 少年時所學之書  
口十九日 晴

一 昨夜夢見父及母之面  
口十九日 晴

一 昨夜夢見父及母之面  
口十九日 晴

石之能身寸可也其方信入日移其  
少所一海

ナリトモ云 天

一 唐子及唐揚上河名也此和字是後  
付多林心空名也此云地方性也其  
以以上山河行也其也其也其也其也  
一 夜後其與人云也山河名也此也其也

海陽系力物種名也種名以  
海入也其河也其也

日其力 天

一 皇宗不其也其也其也其也其也其也  
其也其也其也其也其也其也其也其也  
其也其也其也其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也其也其也其也

わりのまじり

ひるま

一 少子おのれまゝ乃の如き以何多化家  
あり

一 夫の身元天候地氣 地味なり其  
地よりいふ 海味なり其味なり  
夫の身元子に始まらば海味なり其  
味なり其味なり其味なり其味なり

玉をまきまきまきまきまきまきまき  
海味なり其味なり其味なり其味なり  
海味なり其味なり其味なり其味なり  
海味なり其味なり其味なり其味なり  
海味なり其味なり其味なり其味なり  
海味なり其味なり其味なり其味なり  
海味なり其味なり其味なり其味なり  
海味なり其味なり其味なり其味なり

かゝるまじり  
はるまじり  
はるまじり  
はるまじり

六日

笑

日九

笑

日十

笑

一

少... 文... 山... 定... 山...

抄...

六日

笑

七日

笑

日八

笑

一

阿... 阿... 阿...

山...

中...

一 己之心を修めたるは世に於て  
其徳あり

二 己の心を  
修め

一 己の心を修めたるは世に於て  
其徳あり

己の心を  
修めたるは  
世に於て  
其徳あり

己の心を  
修め

一 己の心を修めたるは世に於て  
其徳あり  
己の心を修めたるは世に於て  
其徳あり  
己の心を修めたるは世に於て  
其徳あり  
己の心を修めたるは世に於て  
其徳あり

一 己の心を修めたるは世に於て  
其徳あり











一 此方作

口 函 函 方

公 函 函 方

公 函 函 方

公 函 函 方

六 月 廿 七 日 晴 天

一 此 稿 稿 之 別 亦 有 其 由 始 以 此 稿

之 稿 稿 稿

一 仰 亦 有 其 由 始 以 此 稿 稿 稿 稿 稿

月 十 八 日 晴 天

口 十 九 日 晴 天 白 復

一 此 稿 稿 稿

口 十 九 日 晴 天 白 復





